

自由南アフリカの声

Voice of Free South Africa

2021年4月

No. 77

～ 1冊の本が人生を変える～

発行 / アジア・アフリカと共に歩む会

Together with Africa and Asia Association (TAAA)



2021年3月の報告と予定

- 2020年9月～2021年3月 国内では、英語の本・算数セット・サッカーボールを収集、分類・梱包作業
南アでは、状況を見ながら本の配布や一部の貸し出し、司書教師対象のIT研修会などを行う
- 12月～1月 TAAA南ア事務所代表、一時日本へ帰国
- 9月～3月 コロナ禍のため、国内の梱包作業を数回中止、または小規模に行う
- 4月 本・算数セット・サッカーボールを355箱、南アへ輸送

目次	●基礎学力向上を支援する TAAA (平林薫)	2
	●コロナに負けず発展する図書活動 (モンドリチリザ)	5
	●Duduzile 中校長のメッセージ	6
	●JICAのカレンダーに掲載 (久我祐子)	6
	●2校の校長からのメッセージ	7
	●TAAA と私 (伊藤宏浅見克則)	8
	●12校のアンケート	9
	●TAAA の国内における活動について (丸岡晶)	10
	●追悼斉藤龍一郎さんを悼む (野田千香子)	10
	●活動日誌	11
	●寄付金や本などを下さった方々	12



コロナ禍下で本などの梱包作業を少人数で行う

混乱の社会状況を乗り越えて ～基礎学力向上を支援する TAAA～

平林 薫 (TAAA 南アフリカ事務所)

昨年の学校閉鎖の遅れを取り戻す

N連図書事業一年次は2020年8月末で終了の予定であったが、昨年のコロナ禍で南アフリカでは3月末から5月末まで完全なロックダウンとなってしまったことから2ヶ月延長させてもらい、10月末に無事終了した。6月以降、再度学校閉鎖で活動が中断することもあったが、9月からはローテーションではあるが全学年の生徒が登校できるようになり、図書活動に力を入れられるようになった。各対象校では生徒に読後のブックレビューを書かせたり、図書室利用推進ポスター制作を行ったりした。高校生は学校閉鎖で遅れた授業を取り戻すべく多くの宿題や課題に取り組みなければならず、小説をゆっくり読む余裕がなかったが、参考書で勉強するために図書室利用が進んだ。



Melhomnyama 小4年生 ポスターの作成

危うかった南ア～日本往復

事業終了前に一年次の活動の成果を計るため、図書委員会生徒への実力テスト、司書教師へのアンケート、州教育省図書部門担当者ソベレ氏による各対象校の図書活動評価を行い、11月も継続して図書活動のモニタリングとサポートを行った。12月初め、南アではコロナ感染が落ち着きを見せ、ロックダウンがレベル1まで緩和されたため、1ヶ月の予定で日本に一時帰国した。成田空港での検疫で陰性となり無事入国できたが、2週間、外出を控えて自宅待機し、事業完了報告書の作成に取り掛かった。そうしているうち、南ア・日本共に状況が悪化し始め、クリスマス休暇に入った南アでは人々の気が緩んだのか、一気に感染者数が増大した。また、南アの変異種の登場で、“戻れるだろうか”との不安もよぎった。正月明けにPCR検査を受け、陰性証明書をもらい1月7日に南アに向けて出発。南ア側ではすでにロックダウンがレベル3に逆戻りしており、夜間外出禁止開始時間が早まったことから、到着後ジョハネスバーグに一泊しなければならなかった。ヒバティーンに戻れてホッと一週間後、エミレーツ航空の南ア発着便運行がキャンセルになり、少し遅かったら戻って来られないところだった。

身近な人たちもコロナ禍に

当時、毎日のようにコロナ感染で亡くなった方たちの訃報が入り、気持ち的に重く暗い日々を送っていた。昨年のロックダウン中、政府の広報を担当し、テレビで各大臣や関係者の重要な発表が放映される際に司会を務めていたジャクソン・ンテンブ氏が亡くなったことはとてもショックだった。大統領府大臣としてラマボサ大統領の片腕であった氏は、持ち前の明るさとストレートな話しぶり、時には、まじめな顔で発表する大臣に向かってジョークを投げかけるなどのユーモアで、暗い気持ちになっているテレビの前の人々を元気づけてくれた。どんなにか忙しい日々を送られ、自身の体調のことをおろそかにしてしまったのかもしれない。感謝の気持ちと共にご冥福をお祈りしたい。



また、現在の対象地域ドゥエシューラ学区長であるザミサさんの旦那様で、ムタルメ地域インコロバネ高元校長のザミサ氏もコロナ感染で亡くなったとの連絡に大変ショックを受けた。その後ザミサさんも感染し、3週間昏睡状態に陥ってしまったそうだ。ザミサさんは“どこか遠くで祈りの声が聞こえて、目を覚ますと耳元に携帯が当てられていて、牧師さんが祈ってくれていたの”と話す。祈りが通じて本当によかった。現在はかなり回復が見られるが、まだ休暇を取って家で療養中である。いつも力強いサポート・アドバイスをくださっているザミサ学区長には早く元気になって職場に復帰されることを願っている。

←Cophela小で本の貸し出し

3月に入り、だいぶ状況の改善が見られるようになってきたところ、ズルー王のズウェリティニ氏が72歳でコロナ合併症で亡くなったとのニュースが入った。人々の喪失感が大きく、大切な存在をコロナが次々に奪っていくことに悲しみとやり場のない憤りを感じている。大人でさえ暗く重い気持ちになってしまうのだから、若者や子どもたちへの精神的な影響が気がかりだ。



Imbale n cane/小コンテナ図書室

状況少しずつ改善、ワクチン接種

現在、3月末時点で状況は少しずつ改善が見られ、医療従事者へのワクチン投与も順調に行われている。ただ、大急ぎで購入したアストラゼネカ社のワクチンが南ア変異株に対応していないことが判明し、南ア国内では使えないため他のアフリカ諸国に転売するという不手際などワクチンに関してはまだ混乱が見られ、メディアでは連日ワクチンに関する話題がトップニュースとなっている。

新学期、モンドリと活動開始

今年度、学校は1月25日開始予定だったが、コロナ感染状況の悪化により2月15日に延期となった。その間、モンドリと年間の活動計画を話し合い、今年度の新規プログラムであるIT指導の準備として、資機材の購入や指導者の選定等を行った。学校ではソーシャルディスタンスを保つため生徒のローテーション登校が続いており、新年度の図書委員会メンバー決定に時間がかかった。昨年度からの顔見知りのメンバーもあり、再会できてとてもうれしかった。彼らには新規メンバーへの指導と、引き続き読書推進・図書室利用促進に力を入れるよう話をした。昨年末から各校数名の教師アシスタントが配備される準備が進んでいたが、学校を訪問してみると、彼らは主に司書教師アシスタントとして図書室担当となっていた。これは図書活動にとって有難い取り組みで、アシスタントがいることで図書室を一日中開けておけるため、クラス全体や生徒個人がいつでも利用できるようになった。ただ彼らの契約は第1学期のみということなので、司書教師と図書委員会生徒には“アシスタント教師を頼り過ぎず、委員会メンバーが図書室管理の責任を持つことを忘れないように”と伝えた。

密を避けてIT研修会

IT指導に関しては、ノートパソコン・プリンター等の資機材について、校長及び司書教師が責任もって管理すること、図書室での活動にのみ利用し、万一、十分に利用されていない、生徒が利用できない等の状況が見られた場合、学区長を通して別の学校に再配備されることなどを明記した合意書を作成し、3者（学区長、校長、TAAA）がサインをした後、各対象校に配布した。3月3日に司書教師対象のIT研修会を開催したが、今回は密になることを避け、各対象校から1名の教師が参加し、学校でもう1名に指導してもらうことにした。IT指導員は地元在住の若者で、自身もNPOを立ち上げ、地域の生徒たちに学習支援を行う計画をしているシカロ・クズワヨ氏にお願いすることになった。昨年はコロナ禍のため計画が中断してしまったようだが、N連事業での取り組みは“まさに自分が目指している活動だ”と熱意を持って指導にあたってくれている。昨今、IT知識と技能の習得は生徒が大学や専門学校に進学したり、社会に出て働いたりする際に不可欠であるが、生徒の家庭の多くはパソコンを持つ余裕がなく、地域の学校ではまだほとんどIT指導が行われていない。事業では図書室に1台のノートパソコンとプリンター、インターネット接続を配備し、図書室をリソースセンターとして利用できるようにする。まず図書委員会生徒に基礎的なパソコンの使い方を指導し、その後、司書教師の監督下で、委員会生徒が他の生徒にピア教育をする形となる。パソコンはあくまでも図書室での活動に利用され、これまでに手書きで行っていた本の受け入れ登録や貸し出し帳などをパソコンでの作業に切り替え、また読書推進ポスターの制作に利用する等、生徒が実践で技能を身に付けられるようにする。ほとんどの生徒は初めてパソコンに触れるとあって、ボタンを押すのも怖々、マウスを持つ手も硬くなっているが、図書室でパソコンが使えることをとても喜んでいる。

低学年の基礎学力強化の必要性

昨年度は小学校低学年生徒の登校時間が少なく、その学年で学ぶべき基礎的な勉強が十分にできないまま進級してしまった。今後、この影響が長期的に及ぶことが懸念され、低学年生徒への読み書き・算数指導の強化が必要である。N連先行事業のムタルメ地域での活動時にファシリテーターとして活躍してくれたジンシェさんが現在教師として勤務しているエムセ二小学校に算数セット36箱を寄贈し、図書室に配備した。ジンシェさんの指導の下、低学年のクラスで利用されるようになり、教師からは“生徒が楽しみながら算数を学ぶことができとても良い教材だ”と喜ばれている。今後、すべての対象小学校に配備したいと考えており、次の船積み到着が待ち遠しい。

電子図書館（E-Library）の普及について

対象地域のような南アの遠隔地域では、まだ図書館がない。あっても使われていない学校が多く見られるが、教育省は世界的な流れに沿って E-Library（電子図書館）の導入を進めている。昨年末にはウグ郡の遠隔地域の高校に E-Library が設置されたとのことだが、多額の予算を使って数校のみに配備されるのは不公平と感じる。また、私たちの対象校の中にはネットワーク接続が悪く、携帯電話を使うのにも苦労している学校もあるのに、同じ遠隔地域で接続の問題は解決できたのかも疑問である。そして、特に気がかりなのは、本を読む、本から学ぶ習慣を身につけていない生徒たちが十分に E-Library を使いこなせるのかどうかだ。この試みがうまく進み、予算もあるのであれば、ぜひ他校にも E-Library の配備を進めて欲しい。



Mgamule 高 IT の研修

図書活動支援を始めて1年の学校の成果

ひろしま祈りの石財団からの助成で昨年4月から図書活動支援を開始したフランクランド小にはコンテナ図書室を配備し、本棚の設置、書籍の購入、司書教師への研修など準備を進めてきた。今年初めに図書委員会メンバーが選出された時点で生徒への研修を行い、図書室の利用が始まった。まだ蔵書が十分ではないため、現在補充を進めている。生徒の読書と図書室への興味が大きく、すでに多くのブックレビューの提出があった。図書アシスタントも熱心に生徒への読書推進を行っており、他の対象校との活動開始1年の差を縮める勢いが見られる。

TAAAの活動地域が高校卒業試験合格率、州で1位

ウグ郡は、昨年末に行われた高校卒業試験の合格率が81.7%でクワズルーナタール州11郡中一位となった。州全体の平均合格率77.6%や国全体の平均合格率76.2%を大きく上回る快挙だ。対象校 Beaulah 小のムソミ校長からは“これはもちろん教師や教育省スタッフ、そして生徒の努力によるものだが、TAAA の郡内の学校への図書支援活動の成果でもある”との言葉をもらった。TAAA メンバー及びサポーターの皆さまの長きにわたるご協力、ご支援のもとで現地での活動が継続でき、少しずつ成果が見えてきていることをとてもうれしく思う。現地の学校関係者は TAAA の活動が効果的であると認識し、いつも感謝してくださっていることをお伝えしたい。前述の E-Library のように、どのような基準で選ばれるのかわからないが、ぽつりぽつりと立派な図書室を設置するのはどう見ても不公平で、本来はすべての学校に図書室が設置され、有効に利用されていなければならない。しかし、例え設備があったとしても管理や利用法まで十分指導されているとは限らず、立派な設備を持って余しているような学校も見られる。前述のフランクランド小の校長からは“TAAA がコンテナ図書室を設置してくれたことは大変うれしい。しかしもっとうれしいのは、継続して活動の様子を見に来てサポートやアドバイスをくれることだ。それが私たちのモチベーションや刺激になる”との言葉をもらった。TAAA の持ち味と言える“小回りの利く活動”をこれからも続けて行きたい。

コロナ禍による社会の混乱状態

前向きな話題の後にネガティブな話題を書かなければならないのは心苦しいが、3月初旬からで突発的に行われていた住民によるストライキが拡大しており、3月下旬には国道2号線を封鎖し、トラックを燃やす等の事態にまで悪化している。ドゥエシューラ学区への道路も封鎖され、ストの日は学校も閉鎖となってしまう。地域住民は、水道・電気等のインフラや社会サービスにほとんど、アクセスできていない状況に怒り心頭で、社会状況が悪化し、失業率も高くなっている中、政治家や役人の汚職が明らかになったことなどが引き金になったようだ。私の住むヒパディーンも断水と計画停電が断続的に起き、不便な生活を強いられており、ストライキを強行する地域住民の気持ちはよくわかる。ただ、コロナ禍による混乱状態が続いている学校を巻き込まないで欲しい。ストに参加している住民は自分の子どもたちの教育のことをどう考えているのか、本当に残念である。ただでさえ遅れて始まった今学期の授業時間がますます減ってしまい、ローテーション登校の生徒は昨年同様、学校に行かれない日が続く状況になってしまっても、私たちの対象校ではオンライン授業は全く行われていないのだ。これまで私自身も南ア人同様、かなり楽観的だったが、最近の社会状況には“この先南アはどうなっていくのか”不安が募ってきている。

読書で心豊かな大人になってほしい

コロナ禍もまだ完全に終結していない中、社会の不安定さに拍車がかかっているような今日この頃であるが、南アの将来を担う子どもや若者へのしっかりとした教育より他に地域を変えて行く方法はないと思う。彼らに読書をする機会を与え、本から学ぶことはもちろん、読書を楽しむことで心を豊かにし、地域や他人に対する思いやりや責任を持てる大人に成長できるような手伝いをすることが TAAA の役割であると信じ、これからも活動に尽力したい。また、何らかの技術を身につけて、将来自分の力で生きて行かれるような取り組みの一つとして、有機畑作りの指導も少しずつ続けて行きたいと考えている。

コロナに負けず発展する図書活動

モンドリ・チリザ (TAAA 南アスタッフ)

2019年9月に開始した私たちの図書プロジェクトは、いくつかの試練に見舞われながらも、うまく進んで、2020年10月に無事終了させることができました。コロナ禍状況下だったので、自分たちのことだけでなく各校の教師や生徒の健康のことも気遣いながら、事を進めなければならなかったため、大変ではありましたが、でもプロジェクトを成功させようと最善をつくしました。当初予定の12校に加え、その後追加の1校に図書室が設置され、生徒たちは積極的に図書室活動に参加しています。

農村部奥地の学校の生徒たちの多くにとっては、図書室なるものがどんなものなのか見当もつかなかったし、見たことも訪問したこともありませんでした。私たちは彼・彼女らの学校に図書室なるものを設置し、校舎内に設置できないところには、コンテナ図書室を校内の空き地に設置しました。いずれにしろ、図書室は、学校にとってだけでなく、地域にとっても利用価値のある有益なものとなっています。図書委員会メンバーは熱心に活動し、生徒たちは図書室を自分たちの学習活動に役立てています。農村部の小規模校の方が、提供されたものは何でもありがたく受け取って、有効活用しているように思えます。

図書室利用者には、利用者登録簿の存在を紹介し、入室の際には記入を忘れないようにと声をかけています。現在、図書室は毎日開いており、生徒も教師も、よく利用しています。図書室の本を読み終えたら、十分読みこなせているかを確認するためにも、読書感想文を書くように促しています。生徒たちには、語学力を上達させるために、本を読み文章を書くことを奨励しています。これらの読み・書きの奨励を通して、学校の生徒たちの間に読書文化が根付き花開くことを期待しています。校長や教師も、生徒たちの読み・書き能力に改善が見られたということで、私たちの仕事を評価し、TAAAの支援にいつも感謝の意を表しています。

ウグ郡は、今年クワズルー・ナタール州内で高校卒業資格試験合格率1位となりました。今回のプロジェクト対象校の1つは、なんと合格率100%という結果を出しました。図書室で勉強できたおかげです。生徒たちの進歩は、読書感想、朗読、演劇などにおいても、また、私たちが彼・彼女らの作品製作に助言する際に



見てとれます。私たちは生徒たちが読み書き能力の一層の発展を遂げられるように、もっと多くの生徒に図書室活動に参加し、図書室を利用するよう励ましています。

私たちはまだコロナ・パンデミックの影響下にあり、登校は学年別指定になっていますが、生徒たちはその体制にも慣れ、なんとかうまくやっているようです。教師と生徒の協力と支持で、私たちの活動も継続できており、一緒にうまく回っています。


図書委員会生徒への研修をする筆者（中央）

Duduzile 中学校からの感謝のメッセージ

私たちはこのような支援をどんなにか評価し有り難く思っているか言葉に表わせないほどです。当校の生徒たちの大半が図書室とはどう使うものなのか見当もつかなかった時、図書室は学校として整備したかった重要な教育資源の一つでした。今生徒たちは図書室の利用ができるようになり、その活用技術も着々と身につけて来ています。それが生徒たちの読み・書き能力の向上という面で大いに貢献してきました。またいろいろな教科・科目で必要とされる情報を探せるようになってきています。この度はラップトップとプリンターも寄贈頂き、コンピューター技術も身につけようとしています。

当校のためにご尽力頂いたことに対し心からの感謝の気持ちを表すると同時に、貴団体のさらなる発展と成果を願っております。
(大友深雪 訳)

DUDUZILE JUNIOR SECONDARY SCHOOL
MESSAGE OF APPRECIATION



The school cannot be able to express how grateful we have been for such a sponsorship. The library was one of the major resources that we wanted as a school because the majority of our learners do not have the idea of how to use a library. The learners of our school are now able to use the library and they have acquired the skills of library usage. The learners have benefitted a lot in terms of improving their reading and writing skills. Learners are now able to search for information to be used in their various subjects. Learners are now getting to acquire computer skills through the donation of a laptop and printer.

As the school we express our sincere gratitude for what you have done and we wish you growth and prosperity in your organization.



生徒にお話する Duduzile 中学校の Madlala 校長

TAAA が JICA のカレンダーに掲載される

2021年 JICA カレンダーの10月*に、TAAA の JICA 草の根技術協力事業「有機農業塾を拠点とした農村作り（2016年7月～2019年4月）」の写真が載りました。

アパルトヘイト政策下で、自給的な小規模農家が育たなかった南アフリカの遠隔地域。

保育園に菜園を作り園児たちを指導することで、小さい時からどろんこ遊びの感覚で、有機野菜作りに親しんでもらいたい。そんな私たちの願いと園児たちの頑張り、ニンジンと笑顔の大収穫につながりました。

* 10月16日は「世界食糧デー」。世界に広がる食糧問題や飢餓、極度の貧困を考え、解決していくことを推進する日です。 久我祐子（TAAA代表）




Mehlomnyama 小と Imbalencane 小の校長からの手紙 (平林薫 訳)

メショムンヤマ小一同、貴団体の図書プロジェクトに参加させていただけたことに感謝しております。これまでに私たちが必要としている支援をいただき、教師の指導や生徒の学習に必要な備品も寄贈いただきました。教師や生徒が図書室をどのように管理するのか理解できるように継続的に研修を行って来ています。また、サッカーボールの寄贈は学校内で生徒の才能を見出し、伸ばすことに役立っています。

これからも私たちの目標達成に向けて、貴団体と良いパートナーシップを継続して行きたいと思っています。

MEHLOMNYAMA PRIMARY SCHOOL


<p>PHYSICAL ADDRESS C/O ST FAITHS ROAD KWA CELE TRIBAL AUTHORITY MEHLOMNYAMA</p> <p>TELEPHONE 039 978 9081</p>		<p>POSTAL ADDRESS P.O. BOX 4234 MEHLOMNYAMA 4246</p> <p>CELL NUMBER 082 721 2131</p>
--	---	--

Dear Sir/Madam

As Mehломnyama Primary School we would like to thank library organisation for including us in their programme. We have already received all the necessary support from organisation, you also donated a good equipment for teaching and learning. You have organised many seminars and workshops just try to equip educators and learners to understand how the library operates. You also donated soccer balls and netball so that we will be able identify and develop the talents within the school.

We wish to be your good partners all the times so that we will achieve our common goal.

PROVINCE OF KWA-ZULU-NATAL
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA
DEPARTMENT OF EDUCATION
DATE: 01.04.21
PO BOX 4234 MEHLOMNYAMA 4246
BIDS 103 6000 949

Yours faithfully

Mr M.B Mngqosini (Principal)



Mehломnyama 小の Mngqosini 校長 (左端)

インバレンチャネ小はTAAAの図書室寄贈に大変感謝しております。この図書室は学校の姿・気風・雰囲気・律動すべてを変えました。それは校内に瞬時に自信をもたらしてくれました。

図書室によってリーダーと責任を持ったチームが作られ、生徒は貴重な財産である本を大切にすることを学びました。生徒は小説・ノンフィクション・歴史・科学・百科事典など、様々なタイプの本があることを学び、これまで図書室を利用したことがなかった生徒は新しい知識を得ることができました。

図書室は生徒が一歩足を踏み入れたり、本を手にとったりした際にルール厳守が求められることから、生徒に規律を教えてくださいました。生徒は内容を理解せずに読書をやめるわけにはいきません。ブックレビューによって明らかになるからです。ブックレビューは生徒が読書から何を学んだか、自身でよく考える機会となります。

図書室が私たちの学校に与えてくれたことすべてをここに述べられたわけではありません。生徒たちが図書室を利用する姿に、私たちは日に日に鼓舞されているからです。 Arigatou

<p>Postal Address P.O. Box 13408 Mabalencane 4244</p> <p>Physical Address Aashe Mweni Imbalencane Road Mabalencane 4244</p>		<p>Contact Number Telephone: 031 4294449 Cell: 071 0204449 Email: principal@imbalencane.co.za</p>
---	---	---

IMBALENCANE C.P. SCHOOL (Emis No. 160358)

<p>Enquirer: Inbalencane Name: JB Ngema</p>	<p>Ref. Number: None</p>	<p>Date: 04/03/2021</p>
--	-------------------------------------	------------------------------------

The above-mentioned institution would like to put on record its thankfulness and appreciation for the fully functional library donated by TAAA. This library just changed the colour, the tone, the mood and the rhythm of the school as a whole. It just instantly rose the self-confidence of the school community.

The library created leaders and responsible teams. It taught learners to take care of this valuable resource, the book. It taught the young minds different kinds of books such as fiction, non-fiction, history, science as well as encyclopedias which was totally new knowledge to our learners who did not have library at all before.

The library instilled discipline in our learners in terms of library rules which they had to adhere to every moment they are in the library or in possession of a library book. One cannot leave out reading with understanding which is revealed by book review, when they deliberate independently on what they understood about the book read.

I would be lying if I say I can mention all what the library has done for our school because we get inspired day by day as the learners use it.

Arigatou
Imbalencane Principal
JB Ngema



Imbalencane小のJ.B. Ngema校長 (左から二人目)

TAAAと私 伊藤 宏

TAAA を初めて知ったのは、英語書籍を寄付する先をインターネットで探していた時です。私は今から40年ほど前のサッチャー首相時代に企業の駐在員として、3年あまりをロンドンで過ごしました。その時、種々の英語書籍を買いました。私は英語好きの技術者でリタイア後は翻訳の仕事でもとっていたため、多めに辞書、文法書の類いを買って来たかも知れません。リタイア後は、計画通り技術翻訳の仕事を69歳まではフルタイム、その後81歳までパートタイムで続け、現在は全くの年金生活者です。

ロンドンで書籍を買う際に思ったことは、ロンドンは本屋が少ないことです。丸善や紀伊國屋に相当するような大書店は都心部にありますが、小書店が少ないのです。また書店では雑誌は扱わず、これは住宅地にあるニューズエージェントと呼ぶ新聞と雑誌を扱う店で買います。本屋が少ない一方で図書館は多いようで、勤務先のあるシティ地区の図書館や、時には大英博物館付属の図書館で、外国人の私にも親切に閲覧、複写、貸出など利用させてもらった記憶があります。

帰国して以前の生活に戻ると、ロンドンで買った英語書籍の多くは積んだ状態となり、どこかに寄付して役立てられないかと思い、寄付先をインターネットで探していたら、TAAAに行き着きました。大変有益な活動と思い早速何冊かを寄付させて頂きました。

その後 TAAA の会報などを送って頂き、TAAA の皆様方が南アフリカの困難な環境を克服しながら、着々と実績を重ねておられる様子を拝見しました。私はリタイア後の海外旅行で、2010年には南アフリカと周辺諸国を観光しました。南アフリカへは香港乗り継ぎで、ずいぶん遠い国だと思いました。また国土が広く、ヴィクトリアフォールズや喜望峰、プレトリアでのジャカラダの花盛りなど見所豊富なツアーでしたが、治安が悪くツアーガイドからは勝手に歩かないでと念を押されました。アパルトヘイトの名残としてヨハネスブルグのソウェト地区にも立ち寄りしましたが、貧富の差は非常に大きいようで、複雑な国情を実感しました。

今回のコロナ感染症では、つくづく先のことは分からないと感じています。子ども時代には戦争、その後は高度成長やバブル崩壊などを見聞きました。TAAA の皆様も渡航制限をはじめ外国であるが故の独特の問題も絡んで、いろいろ未経験のご苦労が多いことと思います。私はもう後期高齢者もいいところで応援以外何もできませんが、このような事態は若い方々のエネルギーでこそ克服できるものと、TAAA の皆様のご活躍を祈念しています。

TAAAと私 浅見 克則 (TAAA 会長)

今を去ること30数年前、ある会で野田前代表と出会った。ある時野田さんがアフリカに送る古着の供出を会の皆に頼んだ。私も家から持参した古着を野田さんに提供した。結構な量の古着を会場場所とご自宅が近いとは言え原チャリで運び切るのは難儀な事と当時から無駄に大きい車に乗っていた私は輸送を買って出た。ここから私と野田さん、引いてはTAAAとの関係がジワジワ始まった。南ア訪問時、贈った移動図書館車と再会

若いころからボランティア活動とは無縁でもない。赤い羽根募金で浦和駅頭に立ったり、あしなが育英会で子どもたちをドライブに連れて行ったり、更に父の手伝いで中国残留孤児の帰国支援活動に携わったり、母と孤児の里親活動をしたり……。振り返ると点々と身近で、しかしどれも短期間の線香花火であった。

元々アフリカに関心があったわけではない。他国の人々を積極的にサポートする心の余裕など持ち合わせてはなかった。

言わば白紙の状態にボランティア、アフリカ、大きく言えば南北問題が薄墨がしみ込むように人生に溶け込んできた。私のセールスポイントは車の運転。学生時代から運送のバイトは数知れず、最初の就職は大型車メーカー。この一点での貢献なら人後に落ちない。TAAAでの活動の根幹を本の輸送、ここに据えたことが斯くも長きに亘って活動して来る原動力となった。適材適所。パズルのピースがパチッとハマると気持ちがいいものだ。しかし近年とみにパワーが落ちて来た。15KG程度の箱が重く感じるようになってきた。大好きだった運転も今は2時間ほどでギブアップ。セールスポイントが急速に薄れつつある。

未だ仕事をしている。建築業界の末端に挟まって糊口を凌いでいる。業績は低空安定飛行。個人事業主なので呑気だ。中学に始めたテニスも続けている。最近では全国に3万はあると言われる山城探訪を終の趣味に据えている。



南ア訪問時、贈った移動図書館車と再会

ドゥエシューラ学区対象校12校：学校図書活動の成果・達成度一覧表（2019年9月～2020年11月）

学校名	生徒数	図書室設置完了・開室時期	TAAA配布書籍数	現地購入書籍数・種類	読書推進活動	司書教師アンケートより	TAAAからのコメント
Beulah小学校 (R-7年生)	394	2019/11	320	10 地図帳・伝記・チャート	ブックレビュー スプリングコンテスト ストーリーテリング	生徒が本を借りて読後にブックレビューを書けるようになり、ストーリーテリングもできるようになった。	当事業開始前に使われていない読書用の本が、それら校内既存の書籍とTAAA寄贈の書籍で同校の図書室は十分な数と内容の蔵書が整った。司書教師1名が離職したため、校長に代用1名の任命を依頼した。第2年次は学校全体で図書室を使いこなせるような指導、活動を取り入れる。
Cophela小学校 (R-7年生)	777	2020/1	980	112 ズルー語・やさしい英語書籍・百科事典	ポスター作成 ブックレビュー クラスごとに 図書室訪問	少しずつ生徒の読解力がついてきた。読後にブックレビューが書けるようになった。第2年次に蔵書の追加配備をして欲しい。	生徒には読書への興味が見られたが、学校管理部門及び司書教師の活動への取り組みに懸念があり、学区長に相談したところ2020年9月に配置換えとなった。多少の混乱が生じたが新任の司書教師はやる気を見ており、TAAAは個別研修を行って図書委員会の再編成をした。
Dweshula小学校 (R-7年生)	470	コンテナ図書室(1) 2020/1	900	115 ズルー語・やさしい英語・科学書籍	スプリングコンテスト 図書室装飾 各教室内で図書室利用の呼びかけ	生徒たちが図書室に興味津々で、率先して訪問するようになった。読書習慣をつけ、授業にも好影響が出ている。	対象校の中で最も遠隔地にある小学校であるが、校長、司書教師が図書活動の重要性をしっかりと認識して活動に取り組んだ。6～8月も登校できる学年の生徒に対して継続して図書室の利用を促進したため、生徒の読書への興味と活動の定着が見られた。
Emseni小学校 (R-7年生)	150	2019/11	450	77 ズルー語・やさしい英語・学習参考書	集会で図書室利用呼びかけ	生徒の読書への興味が深まった。今年はコロナ禍により活動が滞ってしまっていたが、来年はもっと活発に行いたい。	ほとんど使われていなかった校内既存の本も蔵書に加え積極的な使用を促した。司書教師・生徒共に図書委員会はしっかりとしているが、ロックダウンの影響もあり、活動への取り組みは活発とは言えなかった。第2年次は生徒が興味を持ってよりよいプログラムを取り入れ、参加を促す。
Imbalencane小学校 (R-7年生)	944	コンテナ図書室(2) 2020/1	780	125 ズルー語・やさしい英語・伝記・辞書	ポスター作成・図書室装飾 各教室内で図書室利用の呼びかけ	頻繁に図書室を訪問して本を借りる生徒が出てきた。読書を楽しむ姿が見られるようになった。第2年次は蔵書の追加配備をして欲しい。	対象生徒数に対して蔵書がまだ少ないためTAAAから寄贈を継続するが、州教育省図書部門(ELITS)にも本の配備を依頼した。当初、生徒の図書室への出入り管理が難しかったが、図書委員会生徒が責任を持って図書室の管理ができるようになってから、図書室利用の時間が増えた。司書教師は1名が中心となって活動を行っているため、第2年次は2名で協力して活動を進めるよう指導した。
Mehlomnyama小学校 (R-7年生)	285	2019/11	480	70 やさしい英語・地図帳・伝記	ポスター作成 ブックレビュー	生徒が本への興味を示し、自主的に図書室を訪問して本を借りるようになった。	司書教師が多少の経験があったため活動はスムーズに進んだ。生徒がクラス単位で図書室の本を借り、ブックレビューを書く活動を継続して行ったことにより、今年度で生徒の読み書き能力の向上が見られた。司書教師がすべてを管理する状況であったため、第2年次は図書委員会生徒の役割を明確にし、委員会生徒たちが管理・運営の力をつけられるような取り組みを行う予定。
Umalusi小学校 (R-7年生)	500	2019/11	860	144 ズルー語・やさしい英語・百科事典・辞書・伝記・チャート	朝会や各教室内で図書室利用の呼びかけ ブックレビュー	生徒が率先して図書室を訪問し、本を借りるようになった。生徒の語彙力が高まった。ロックダウン中も本を借りて読んだ生徒が、教師にストーリーを伝える姿も見られた。	生徒の本への興味が大きく、6月～8月(登校制限期間)も継続して活発に活動が行われた。司書教師は図書委員会生徒を信頼して管理・運営を手伝わせたことから、委員会生徒が自立して活動を進めていた。図書室利用が本好きの生徒に限られてきたため、第2年次はクラス単位で読書・ブックレビューの時間を取るようにしたい。
Duduzile中学校 (8-9年生)	556	2019/11	1030	65 ズルー語・科学・伝記・百科事典	朝会で朗読 ブックレビュー 各教室内で 図書室利用の 呼びかけ	生徒の読書への興味が深まってきた。ブックレビューコンテストも自分たちの力で進め、読解力も付けた。図書委員会生徒は自主的に活動を進められるようになった。	ロックダウン直前まで大変活発に活動が行われていたが、登校制限により8月まで学校閉鎖となってしまったのが残念だった。9月以降も登校制限期間が続いたため、図書室利用は限定的だったが、ブックレビューコンテストを開催したところ多くの参加が見られた。同校は2学年のみのため、事業終了前に8年生委員会の再研修を行い、第2年次への準備をした。
Nani中高校 (8-12年生)	241	2019/11	1050	40 地図帳・伝記・学習参考書	ブックレビュー スプリング・朗読・スピーチ コンテスト	図書委員会生徒が中心となって行う図書活動に校内でより多くの生徒が参加するようになった。	ロックダウン直前まで大変活発に活動が行われていたが、学校再開後しばらくは12年生のみの登校であったため、図書室利用は限定的であった。その後、校舎の改装作業により図書室が閉鎖されたため、教室にブックボックス3箱を設置して利用した。図書委員会生徒の管理・運営能力が高い。
Malusi高校 (8-12年生)	485	2019/11	1300	37 学習参考書	ハロウィンイベントにて 図書室利用の 呼びかけ ブックレビュー	プロジェクトが始まってから図書室を訪問する生徒の数が増加した。特に言語の授業で成績が上がってきている。	図書委員会生徒の管理運営能力が高く、安定した活動を行うことができた。しかし、司書教師は1名のみが活発に活動を行っていることから、第2年次はもう1名の司書教師の協力、校長の活動へのサポート、校内の他の教師の参加を促したい。
Manguzuka高校 (10-12年生)	611	コンテナ図書室(2) 2019/11	1180	75 学習参考書	朝会で本の紹介 各教室内で 図書室利用の 呼びかけ	プロジェクトで購入された学習参考書が大変役立ち、生徒の図書室利用につながった。第2年次も参考書の追加配備をして欲しい。	対象校すべてに当てはまることだが、特に高校生はそれまで図書室を利用したことがなかったため、高学年になる程図書室利用に馴染めない生徒が多い。その中で、本を活用して勉強した生徒は成績が向上している。特に事業で購入・配備した参考書は大変役立った。図書委員会生徒の管理・運営能力が高いが、ロックダウン後に登校しなくなった生徒や委員会活動から離れた生徒がいた。第2年次は委員会を再編成し、より広く校内での図書室利用を推進していく。
Mgamule高校 (8-12年生)	595	コンテナ図書室(2) 2020/1	1350	50 科学・百科事典・学習参考書	各教室内で 図書室利用の 呼びかけ ストーリーテリング 英語スピーチ	生徒がリサーチに図書室を利用できるようになった。英語スピーチやストーリーテリングの準備に図書室の本を利用し語彙力をつけた。歴史選択の生徒が図書室にある歴史の本をとても良く利用している。第2年次はズルー語の小説の配備をして欲しい。	対象校の中で最も遠隔地にある高校で、ほとんどの生徒は図書室に馴染みがなかったためスタートが多少出遅れたが、司書教師および図書委員会生徒の努力とリーダーシップで他校に追いついた。しかし、ロックダウン以降は図書室利用が限定的になってしまったのが残念だった。蔵書は数・内容共にバランスよく十分に配備でき、校内で利用促進も行われており、第2年次は活動の定着を目指した取り組みを行う。
合計	6008		10680	920			

(1) 一般財団法人 ひろしま・祈りの石国際教育交流財団
(2) 日本NGO連携無償資金協力

TAAAの国内における活動について 丸岡 晶 (TAAA 副代表)



筆者

この1年間はTAAAも新型コロナウイルスの影響をかなり受け、南アフリカにおける支援活動はもちろんのこと、国内における会議、作業、報告会なども都度判断を迫られ、臨機応変の対応を行いました。総じて、活動の推進にあたり障害となるが多かったと思いますが、良いきっかけになったこともありますので、併せて報告いたします。

まず、会議については、理事会などはもともと少人数であることから、お互い密にならないように気を付け、マスクの着用や十分な換気のもと、予定どおり活発なディスカッションができたと考えています。また、南アの平林さんからは、理事向けに毎週電子メールで現状を報告してもらっていますが、Zoomによるオンライン会議で比較的手軽にコミュニケーションができるようになり、これは良い機会になっています。

次に、英語の本の仕分・梱包作業については、国内においてTAAAの最も重要なアクションの1つになりますが、二度続いた緊急事態宣言下においては、大変残念ながら中止とせざるを得ず、例年に比べて作業の回数が減ってしまいました。緊急事態宣言でない時には予定の日時に実施いたしましたが、参加者がお互いに配慮しながら黙々と進めたため、効率はアップしたかもしれませんが、やはり和気あいあいと話をしながら作業をできる日が待ち遠しく感じられます。

また、報告会については、例年であれば平林さんの帰国のタイミングで埼玉や東京にて実施いたしますが、この1年間は開催することができませんでした。しかしながら、2月7日には、会員を中心にZoomによるオンライン報告会を実施し、普段対面では参加が難しかった会員の出席もかない、日本のテレビや新聞では把握できない現地の状況を知ることができました。南アの電力事情が思わしくなく、停電も控えていたため、短時間とはなりましたが、充実したひと時でした。

なかなか困難な日々が続きますが、このようにメンバーで知恵を絞って、国内における活動も着実に推進してきました。夜明けは必ずあることを信じて、これからも楽しくやっていきたいと思えます。



追悼

TAAAは長く齊藤龍一郎さんにお世話になりました。アフリカ日本協議会事務局長を務められていた齊藤さんには活動経験の少ないTAAAの活動方針や方法などに迷ったとき、ふらりと上野の事務所にお寄りすると、TAAAの存在意義を認めながら、アドバイスをくださいました。毎年のTAAA活動報告会には欠かさず来られ、大いに語って下さった笑顔が忘れられません。早すぎるお別れでした。



(齊藤龍一郎氏：1955年生まれ 1974年東京大学教育行政学科 2000～2016年アフリカ日本協議会事務局長 肝臓がんと闘病されながら思考し多くの情報を発信された。2020年12月19日永眠)

野田千香子 (TAAA 事務局長)

主な活動 (2020年9月16日～2021年3月15日)

【日本国】 TAAA 会員とボランティア

9月～3月 本の受け取りと保管 作業場へ搬入 北爪健一
 9月下旬 会報送付のための住所ラベル準備 西村裕子
 9月～10月 会報76号の編集・校正 野田千香子 西村
 9月～3月 ホームページの更新など 渡恵美子 久我祐子
 9月～10月 会報76号の発送準備と郵送 野田
 9/20 梱包作業参加 大友深雪 野田 久我
 9/25 各種支給額の規定作成 久我
 10/1 N連第2年次申請書提出 久我
 10/4 (一財)ひろしま・祈りの石へ第2四半期事業報告書提出
 10/18 梱包作業 浅見克則 野田 高野千恵美 久我
 10/23 N連第1年次事業変更報告書 作成・提出 久我
 10/23 外務省とN連第2年次事業契約締結 久我
 10/26 ZOOM会議 久我 平林薫
 11/15 梱包作業 高野 浅見 大友 久我 野田
 11/18 セントメリー校より本引き取り 浅見
 12/4 持続化給付金申請 久我
 12/9 ミーティング 久我 平林
 12/20 2020年度第二回臨時理事会
 12/29 N連完了報告に関するミーティング 平林 大友 久我
 1/5 N連完了報告書提出 久我
 1/17 図書事業会議・郵袋出荷 大友 浅見 久我 野田
 1/22 (一財)ひろしま・祈りの石へ第3四半期事業報告書提出 久我
 1/23 在南ア日本大使館、TAAA 南ア事務所、南ア PR 会社と繋いだ ZOOM 会議 平林 久我
 2/7 TAAA 南ア事務所と繋いだ ZOOM 会議
 3/1 臨時梱包作業 久我 野田 浅見

【南アフリカ共和国】 平林薫と南アフリカのスタッフ

9/16～18 対象校を巡回訪問し活動の進捗確認、本の貸出しサポート、返却本の殺菌消毒作業、読書推進ポスター作成の呼びかけ。書籍の購入等
 9/21～23・25 対象校訪問し活動の進捗確認、本の貸出しサポート、返却本の殺菌消毒作業、読書推進ポスター作成の呼びかけ等
 9/28～10/2 対象校を巡回訪問し活動の進捗確認、本の貸出しサポート、返却本の殺菌消毒作業等
 10/5～9 対象校を訪問し活動の進捗確認、本の貸出しサポート、返却本の殺菌消毒作業、図書委員会生徒への実力テスト等。
 10/12～16 対象校巡回訪問、活動の進捗確認、本の貸出しサポート、返却本の殺菌消毒、図書委員会生徒の実力テスト書籍の購入
 10/19～23 対象校を巡回訪問し活動の進捗確認、司書教師へのインタビュー・アンケート、ELITS インベリ氏のモニタリング訪問同行、ポスター・ブックレビュー受取り
 10/26～30 学校休暇中のため、モンドリと会議、生徒のテスト・司書教師へのアンケートまとめ、本の対象校別仕分け、翌月の活動計画と報告書準備等
 11/2～3 N連完了報告書準備
 11/4～6 対象校を巡回訪問し活動の進捗確認、本の貸出しサポート、返却本の殺菌消毒作業等
 11/9～10 N連会計報告書作成と証憑書類のまとめ
 11/11～13 対象校を巡回訪問し活動の進捗確認、本の貸出しサポート、返却本の殺菌消毒作業、DHLで会計書類発送
 11/16 対象校を巡回訪問し活動の進捗確認、返却本の殺菌消毒

11/17 Duduzile 中でブックレビューコンテスト表彰と本の贈呈
 11/18～19 対象校を巡回訪問し活動の進捗確認、本の貸出しサポート、返却本の殺菌消毒作業、ブックレビュー受取り
 11/20 N連会計報告作業
 11/23～24 対象校を巡回訪問し活動の進捗確認、本の貸出しサポート、返却本の殺菌消毒作業、ブックレビュー受取り
 11/25 Mehlomyama 小で読書推進ポスターおよびブックレビュー優秀生徒表彰と本・文房具の贈呈
 11/26～12/2 N連完了報告関係作業、帰国準備。モンドリは12月15日まで学校訪問継続
 12/3 日本へ出発。一時帰国中、N連第1年次完了報告書作成
 1/9 南アのダーバン到着
 1/13 モンドリと会議、今年度の活動計画
 1/14・15 事務処理 資機材再見積もり、物品購入
 1/18 Frankland 小訪問、コンテナ図書室本棚設置完、書籍配備
 1/19～20 事務処理・会計作業
 1/21 学校開始スケジュール変更に伴い、モンドリと再会議。
 1/22 ノートパソコン他資機材の最終決定と予約、物品購入、日本大使館柳楽氏と電話会議
 1/25～1/27 高校生用本の仕分け、事務処理、レンタカー予約等
 1/28 日本大使館柳楽氏・横浜女子学院先生・生徒とZoom会議
 1/29 Frankland 小寄贈本の受け入れ登録作業等
 2/1 レンタカー引き取り
 2/3 日本大使館柳楽氏と Zoom 会議
 2/4 対象校に IT 事業に関するアンケート配布
 2/5・7 TAAA 日本スタッフと Zoom 会議
 2/8～9 対象校に IT 事業に関するアンケート配布と回収、ノートパソコン等資機材の購入
 2/10 IT 指導員のクズワヨ氏と会議
 2/11 対象校を巡回訪問、今年度の図書活動準備
 2/12 ザミサ学区長宅で会議
 2/15 学校開始初日のため、資機材配布の準備
 2/16～18 学校巡回訪問、図書室再開準備の確認、Emseni 小に算数セット配布、資機材譲渡に関する合意書作成
 2/19 久我代表と Zoom 会議の後、合意書をザミサ学区長宅に届け、PC バッグの受取り、物品購入。教師研修会招待状作成
 2/22～26 ザミサ学区長宅よりサインをつけた合意書を受取り、学校に資機材を配布、校長が合意書にサイン。司書教師対象 IT 研修会招待状配布
 2/24 IT 指導員のクズワヨ氏と再度会議、研修会準備。
 3/1～2 学校に資機材配布、校長が合意書にサイン、インターネット接続用モデムの購入、研修会用昼食準備
 3/3 コミュニティーセンターにて司書教師対象 IT 研修会開催
 3/4 Frankland 小で図書委員会生徒への研修
 3/5 物品購入、IT 研修会まとめ、翌週の活動準備等
 3/8 オシャベニ地域住民によるストライキのため学校閉鎖
 3/9～12 図書委員会生徒への IT トレーニング開始、図書活動モニタリング、リクエストのあった書籍・チャートの購入等
 3/15 オシャベニ地域住民によるストライキのため学校閉鎖